

河川整備計画（本文）

（動物等）

圏域内においては、ヤマセミ、ハイタカ、ハヤブサ、チュウサギ等の鳥類、イシガメ、シマヘビ等のは虫類、カジカガエル、ダルマガエル等の両生類や多くのその他の昆虫類の生息・繁殖が確認されています。

安曇川では、ヤマセミ、カワセミ、カワガラス等の鳥類、モリアオガエルやカジカガエル等の両生類、ニホンザル、ツキノワグマ、ニホンジカ等のほ乳類といった多様な生物の生息・繁殖が確認されています。貴重な鳥類としては、ハイタカ、ハチクマ等が確認されています。

鴨川流域では、サギ類、カモ類、アカショウビン、カワセミ、カワガラス等の鳥類が水辺に生息・繁殖しています。貴重な鳥類としては、ハイタカ、ハヤブサが確認されています。このほか、イモリ、トノサマガエル等の両生類やイシガメ、シマヘビといったは虫類、カヤネズミ、タヌキ等のほ乳類等が生息・繁殖しています。

石田川では、カワセミ、カワウ等の鳥類が確認されており、貴重な鳥類としてチュウサギが確認されています。また、貴重な両生類として、ダルマガエルも確認されています。

百瀬川では、サギ類、カイツブリ、カルガモ等の鳥類が確認されています。また、中、上流域の河道内では、ヒダサンショウウオ、モリアオガエル等の両生類、ゲンジボタル、タマムシ等の昆虫類等が生息・繁殖しています。沈砂地内では、カモ類、サギ類、ヒヨドリといった鳥類が確認されています。周辺が山地に囲まれていることからノスリ、モズ、アカゲラ等の森林性の鳥類やウサギ、ニホンジカ、イノシシ等のほ乳類も確認されています。

このように、安曇川をはじめ圏域内の河川では、多種多様な生物や保全すべき貴重な種が確認されており、生物の生息・生育・繁殖環境が保全されるように努める必要があります。

出典・根拠

滋賀県版レッドリスト掲載種

環境省版レッドリスト掲載種

ほ乳類



カヤネズミ
希少種



ニホンカモシカ

両生類



トノサマガエル
準絶滅危惧



ダルマガエル
絶滅危機増大種 絶滅危惧 I B類

鳥類



カイツブリ
希少種



カワセミ
希少種

は虫類



カナヘビ



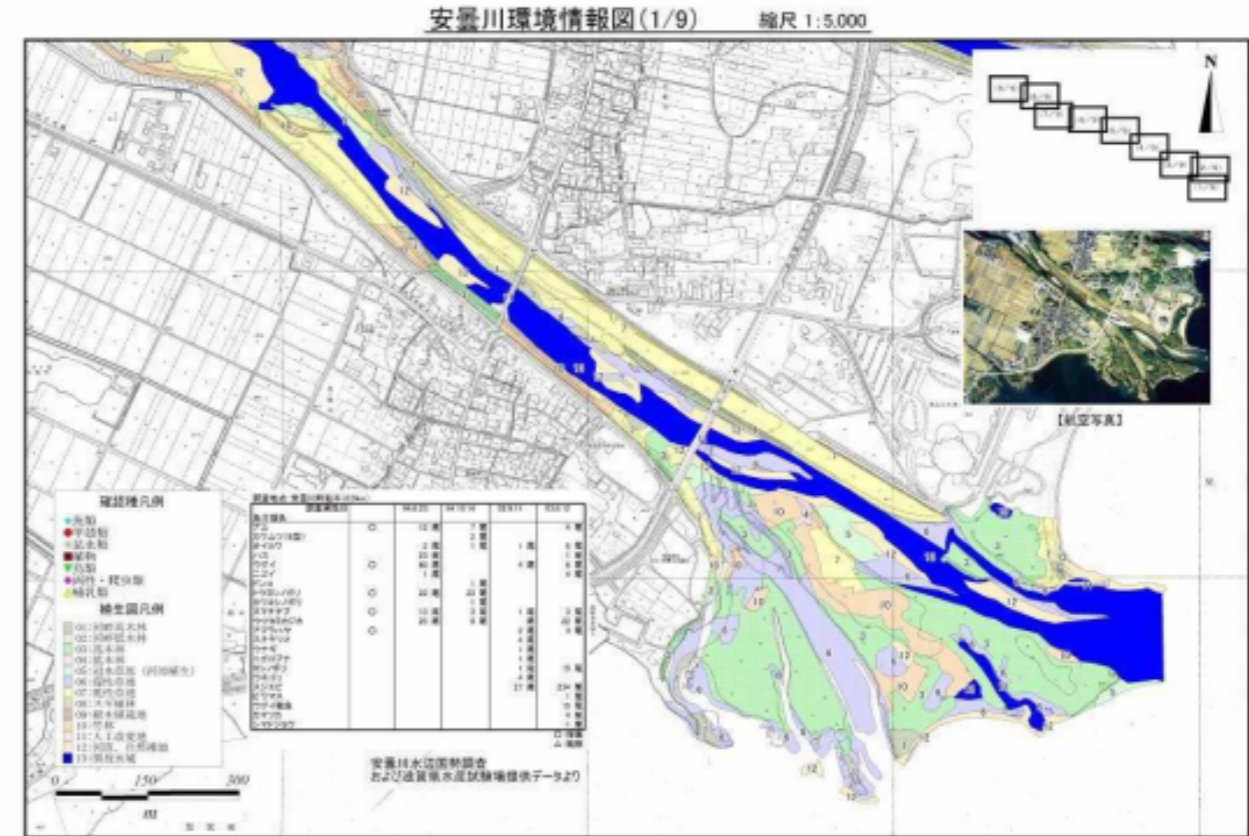
シマヘビ

■記載種一覧（動物等）

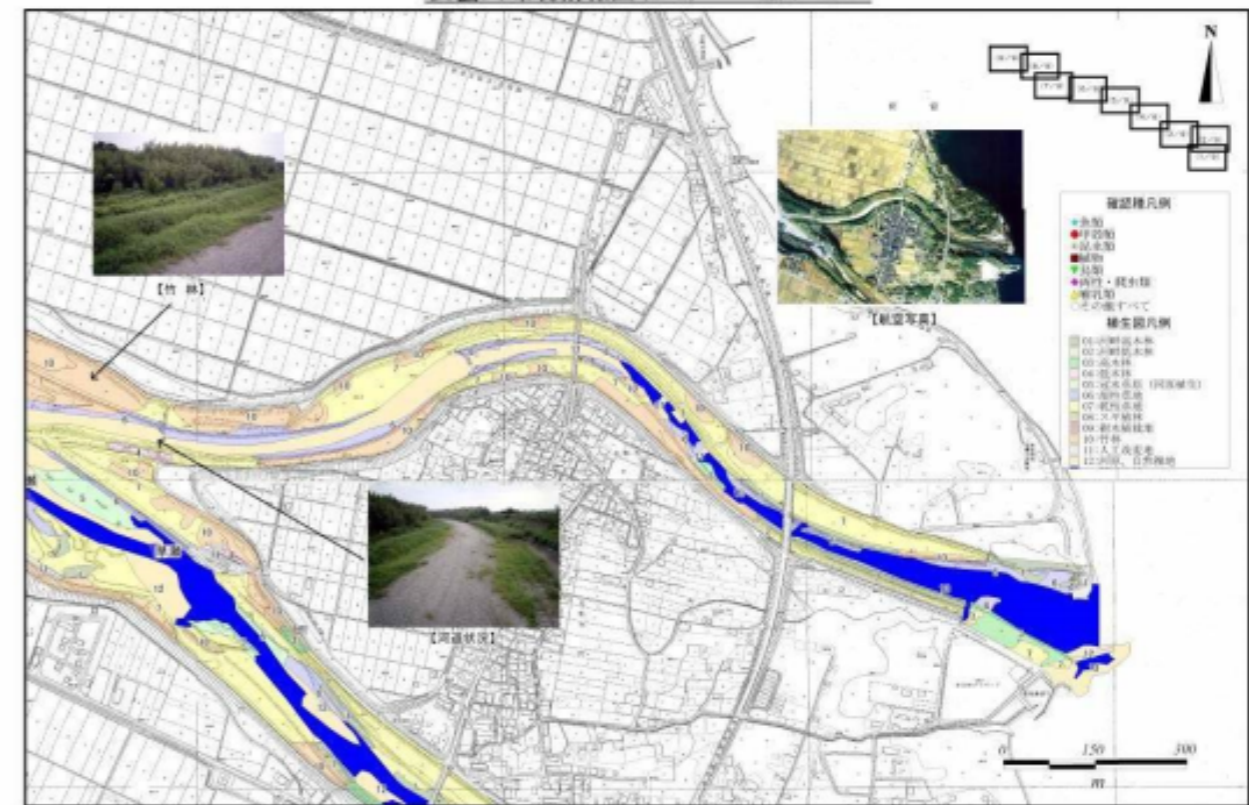
分類	名称	滋賀県レッドリスト	環境省レッドリスト
ほ乳類	イノシシ	—	—
	ウサギ	—	—
	カヤネズミ	希少種	—
	タヌキ	—	—
	ツキノワグマ	希少種	—
	ニホンザル	要注目種	—
	ニホンジカ	—	—
鳥類	アカゲラ	—	—
	アカショウビン	希少種	—
	カイツブリ	希少種	—
	カモ類	—	—
	カルガモ	—	—
	カワウ	—	—
	カワガラス	希少種	—
	カワセミ	希少種	—
	サギ類	—	—
	チュウサギ	希少種	準絶滅危惧
	ノスリ	希少種	—
	ハイタカ	希少種	準絶滅危惧
	ハチクマ	絶滅危機増大種	準絶滅危惧
	ハヤブサ	絶滅危機増大種	絶滅危惧Ⅱ類
	ヒヨドリ	—	—
	モズ	—	—
	ヤマセミ	絶滅危惧種	—
は虫類	イシガメ	—	準絶滅危惧
	シマヘビ	—	—
両生類	イモリ	要注目種	準絶滅危惧
	カジカガエル	要注目種	—
	ダルマガエル	絶滅危機増大種	絶滅危惧ⅠB類
	トノサマガエル	要注目種	準絶滅危惧
	ヒダサンショウウオ	希少種	準絶滅危惧
昆虫類	モリアオガエル	要注目種	—
	ゲンジボタル	—	—
	タマムシ	分布上重要種	—

注1) 参考とした資料は以下の通り
 ・滋賀県レッドリスト：2010年版
 ・環境省レッドリスト：第4次
 注2) 「—」はレッドリスト該当なし

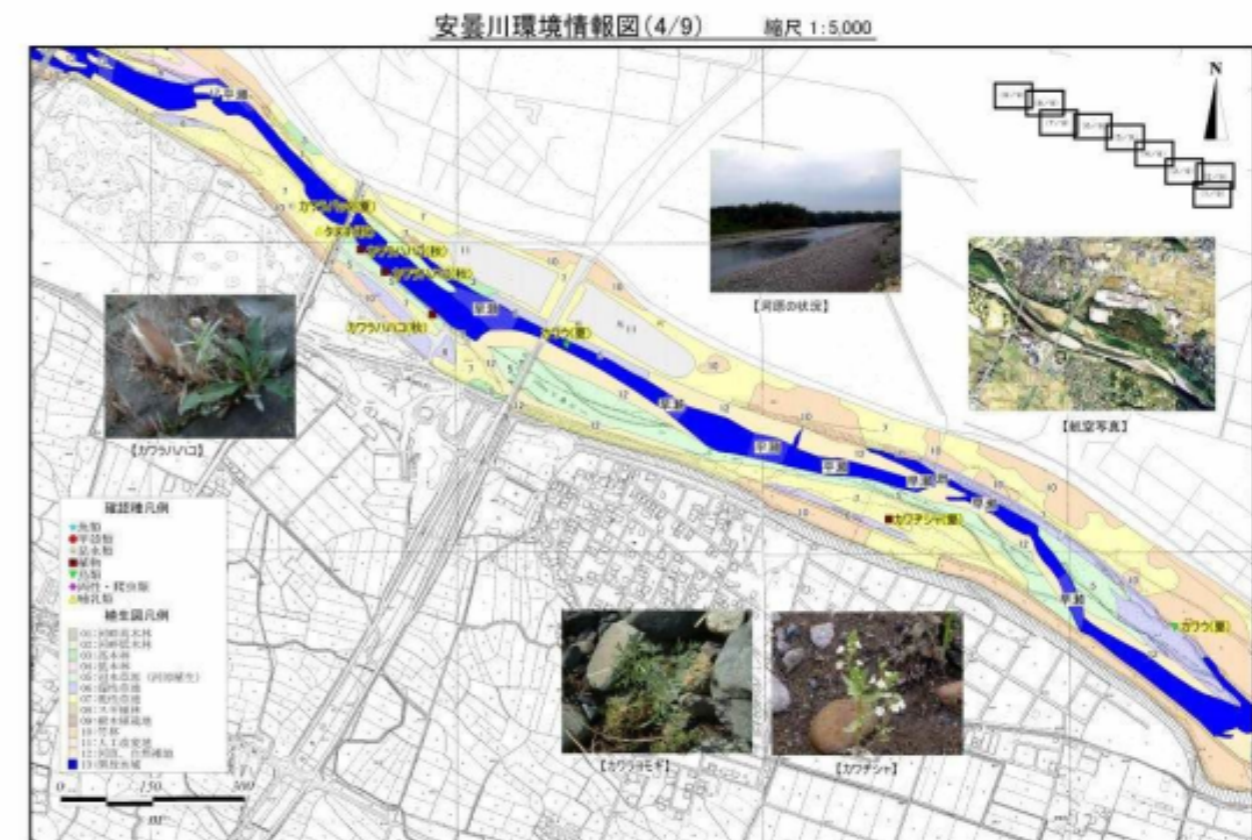
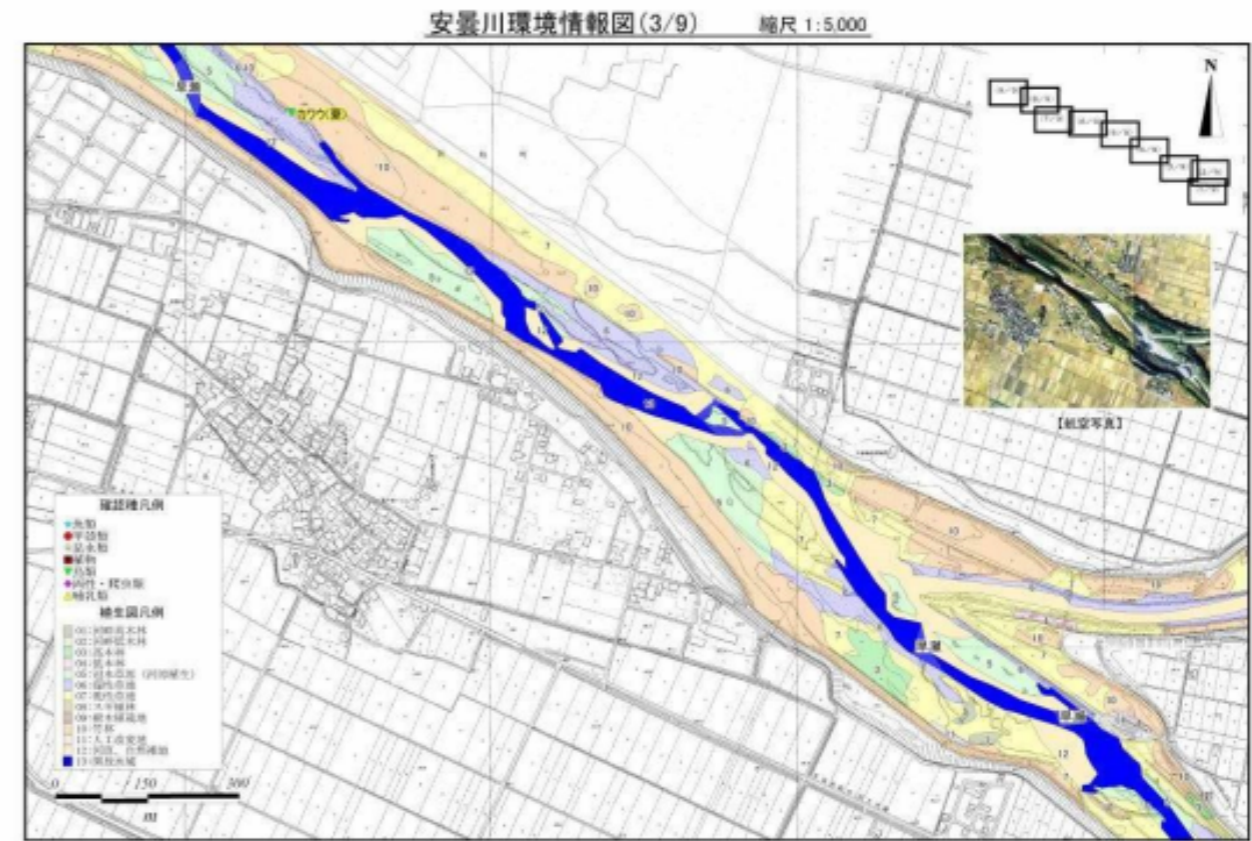
安曇川 河川環境情報図(1/5)



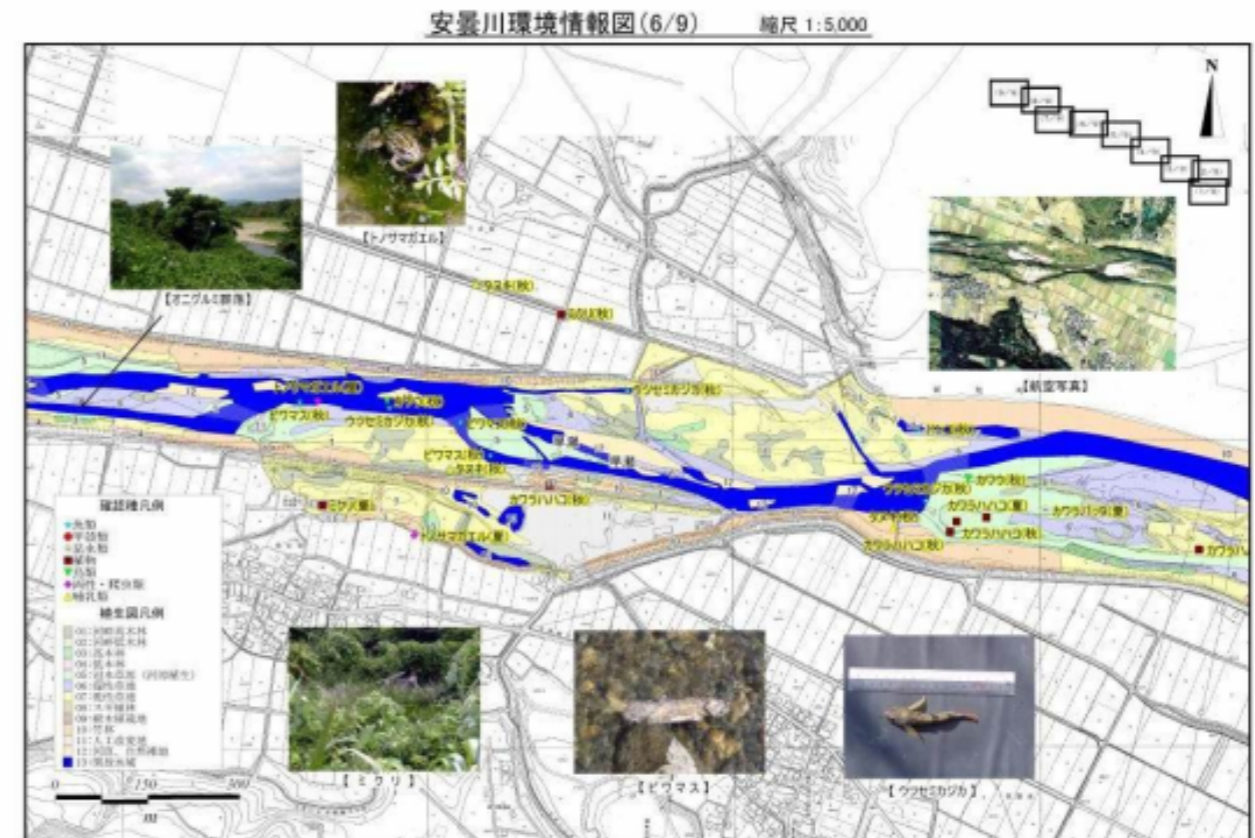
安曇川環境情報図(2/9) 縮尺 1:5,000



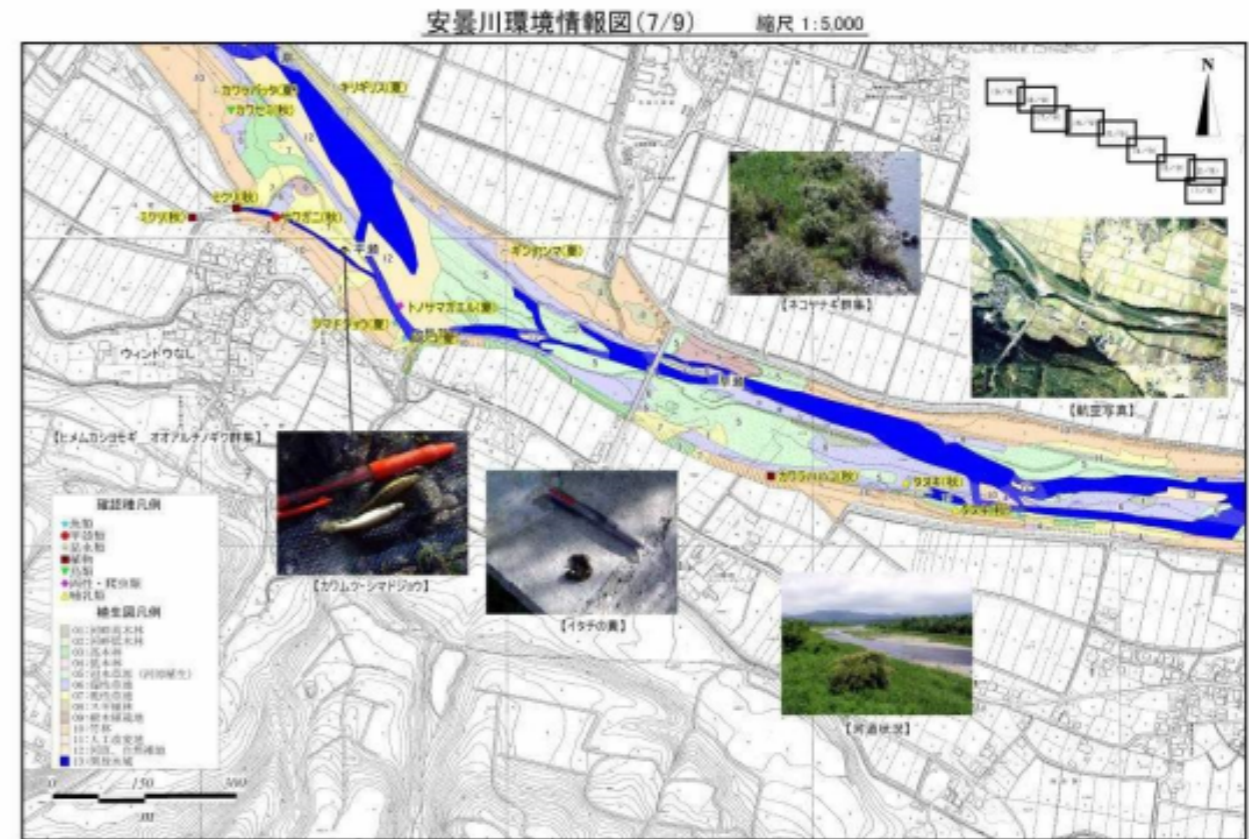
安曇川 河川環境情報図(2/5)



安曇川 河川環境情報図(3/5)



安曇川 河川環境情報図(4/5)

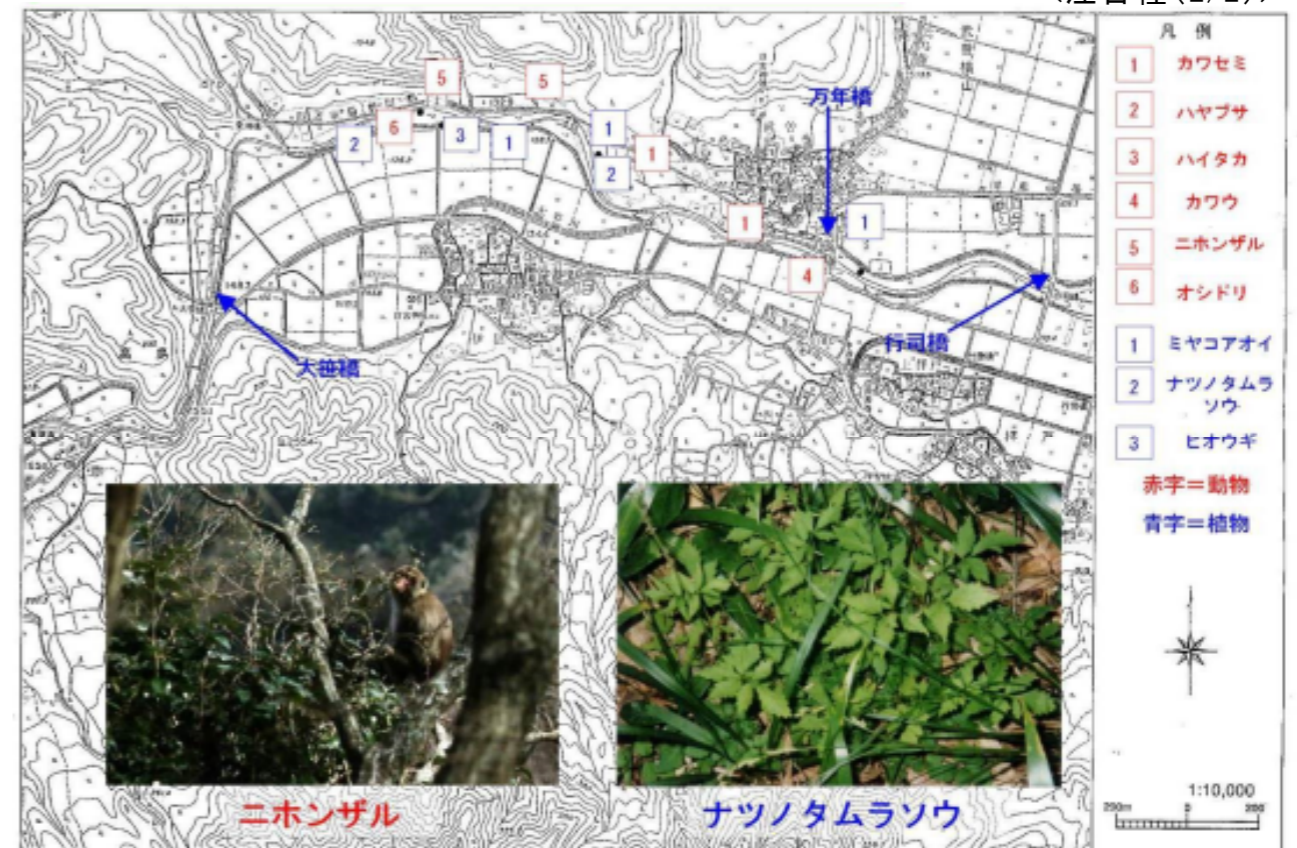


鴨川 河川環境情報図(1/2)

<注目種(1/2)>



<注目種(2/2)>



鴨川 河川環境情報図(2/2)

<植生図(1/2)>



<植生図(2/2)>

